

## (27) 環境DNAを活用した関空島周辺の藻場魚類 (カサゴ、キジハタ)の分布調査法の確立

### 予算

一般財団法人関西空港調査会 2017年度調査研究助成事業

### 概要

関空島は生物多様性に配慮した傾斜護岸として造成され、魚類にとって貴重な生息の場となっている。過去に魚類の分布調査が行われてきたが、コストも時間も掛かる。近年、魚類の分布を低コストで調べることが出来る環境DNAによる手法が開発された。そこで、関空島周辺に生息する魚種の中で重要なカサゴ、キジハタを対象に環境DNAによる調査方法の可能性の検討を行った。まず、これらの魚種のDNAの検出系を設計し、関空島周辺の海水からの検出を試みたところ、対象とするDNAが検出された。また、いずれも関空島近くで高く、離れると低くなる傾向があり、関空島近くでは地点による高低がみられた。この結果は他の手法による過去の分布調査と概ね一致しており、分布を調べる方法としての有効な手法であることが示唆された。なお、詳細については報告書に取りまとめた。

[http://www.kar.or.jp/pdf/jyosei/2017/2017report\\_jyosei2.pdf](http://www.kar.or.jp/pdf/jyosei/2017/2017report_jyosei2.pdf)

### 担当者

辻村浩隆、山中智之